

## 第8回 生殖工学会 (SSRE) シンポジウム (予告)

テーマ：哺乳動物の卵細胞質内精子注入 (ICSI) —その比較と特性

日時：2006年3月11日 (土) 13:00から

場所：明治大学駿河台校舎リバティータワー

東京都千代田区神田駿河台1-1、Tel: 03-3296-4545

参加費：2000円 (学生1000円)、懇親会費：5000円

### 講演

#### 1. マウス ICSI 技術の応用について

小倉淳郎、井上貴美子、越後貫成美、三木洋美  
(理研バイオリソースセンター・遺伝工学基盤技術室)

#### 2. ラットにおける ICSI：精子処理法が ICSI 卵の発生に及ぼす影響

中井美智子<sup>1</sup>、菊地和弘<sup>2</sup>、柏崎直巳<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>麻布大学獣医学部動物応用科学科、<sup>2</sup>農業生物資源研究所)

#### 3. ヒト ICSI の実際と問題点

柳田 薫  
(国際医療福祉大学 国際医療福祉病院 リプロダクションセンター)

#### 4. ブタ ICSI の現状と展開

長嶋比呂志、黒目真由子、斎藤仁、富井亮、上野智、比留間克美、  
松成ひとみ、中山順樹  
(明治大学農学部生命科学科 発生工学研究室)

#### 5. ウシ細胞質内精子注入法 (ICSI) の特性

牛島仁<sup>1</sup>、小崎哲一<sup>2</sup>、石村行弘<sup>3</sup>、長嶋比呂志<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>千葉県畜産総合研究センター、<sup>2</sup>千葉県農業共済連北部診療所、  
<sup>3</sup>山武農業高校、<sup>4</sup>明治大学農学部生命科学科 発生工学研究室)

#### 6. 総合討論

座長：森 崇英 (醍醐渡辺クリニック)

## 書 評

マウス、ラットにおける精子ならびに初期胚の新しい保存の試み

尾川昭三、柏崎直巳著

このたび、本研究会を創設された明治大学名誉教授の尾川昭三先生による「マウス、ラットにおける精子ならびに初期胚の新しい保存の試み」(Prospect of preserving sperm and embryos in mice and rats)が本研究会から出版されました。

先生は、半世紀にわたる研究生活のなかで、マウスやラットの精子ならびに初期胚の保存の研究に携わり、多くの業績をあげられてきました。先生の開発されたマウス精子凍結保存法は、現在でもスタンダードな方法として採用されており、その功績は揺るぎないものであります。さらに、日本では最初に初期胚の凍結保存の成功例も報告され、またウサギ初期胚培養関連の仕事では、4編もの *nature* の掲載論文があり、国際的にも著名な生殖工学分野でのパイオニアであります。

本書は、ラット精子の凍結保存、マウス精子の凍結乾燥保存、精子ならびに初期胚の液状保存、ラット精子ならびにマウス初期胚の液状保存についての問題点と今後の展望、から構成されており、また、最初の部分には要旨が、巻末には参考文献と索引があり、読者への便宜が図られています。内容は、この生殖工学会シンポジウムで取り上げられたマウス、ラットの精子や初期胚の保存に関する研究を中心に紹介されており、先生の研究に対するチャレンジングな姿勢を垣間見ることができます。

実験動物学、農学、医学のみならず、精子、初期胚や生殖工学に興味を抱く多くの研究者、技術者の皆さんにとって、本書がこの分野の研究へのモチベーションを高めることに役立ってくれることを願っております。

(竹島 勉・(財)ヒューマンサイエンス研究資源バンク)

## **Call for SSRE Symposium**

*The editorial board of JRE requires your contribution to organization of 2006 Annual Symposium. We invite the members to bring your idea or request into the theme or topics of the symposium to ensure fruitful activity of the SSRE*

*Contact to Shyoso Ogawa, SSRE, 901 St NagataniBldg.,4-52-11  
Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo. Tel 03-3370-5731  
Fax 03-3370-5732*

## **Journal of Reproduction Engineering**

*(published November 25, 2005)*

**Edited & Published by Tsutomu Takeshima, SSRE Office**

**Printed by Sunprint co.ltd**

**3-37-4, Nakano, Nakano-ku, Tokyo 164-0001, Japan**

**Publishing Office of SSRE; 901 St Villa Nagatani Bldg., 4-32-11**

**Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0023, Japan**

**Fax 03-3370-5732, e-mail ssre.ogawa@nifty.ne.jp**

## Society for the Study of Reproduction Engineering(生殖工学会)会則

### 第1章 総則

#### 第1条 (名称)

本会は、「Society for the Study of Reproduction Engineering」と称する。

#### 第2条 (目的)

本会は、生殖工学の研究成果に関連する情報交換およびその成果の普及を図ることを目的とする。

#### 第3条 (本部および事務局)

本会は、学会本部および事務局を東京都新宿区西新宿4-32-11-901に置く。

### 第2章 事業

#### 第4条 (事業)

本会は、第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学術集会の開催と会誌の発行
- (2) 資料および情報の提供
- (3) その他、本会の目的を達成するための事業

### 第3章 会員

#### 第5条 (会員)

本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 生殖工学に関する研究に従事している者、またはこの会の主旨に賛同する者で、会誌を購読するために対価を納入する者および学生(大学院生を含む)とする。
- (2) この会の主旨に賛同する者で、学術集会に参加するため対価を納入する者および学生(大学院生を含む)とする。
- (3) 賛助会員は、この会の主旨に賛同する団体および会社とする。

#### 第6条 (入会)

この会に入会しようとする会員は入会申込書に所定の事項を記入し、事務局に申し込むものとする。

#### 第7条 (脱会)

会員が次に定める何れかに該当し、役員会で承認された場合は会員の資格を喪失する。その場合、会費は返納しない。

- (1) 会員本人が脱会を届け出た場合。
- (2) その他、本会則に違反し、あるいは本会の名誉を著しく毀損した場合。

### 第4章 役員

#### 第8条 (役員)

本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事 2名
- (5) 幹事 若干名

#### 第9条 (責務)

役員の役割は次のとおりとする。

- (1) 会長は、この会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
- (3) 理事は、この会の重要事項を審議する。
- (4) 監事は、本会の業務および会計の執行について監査する。
- (5) 幹事は、本会の会務に従事する。

#### 第10条（選任と任期）

役員の選出は、次によって行う。

- (1) 会長および副会長は、理事の互選による。
- (2) 理事および監事は、会員の中から選出する
- (3) 幹事は、会員の中から会長が委嘱する。
- (4) 役員の任期は、2年とするが、再任を妨げない。

### 第5章 会議

#### 第11条（会議）

この会の会議は、役員会とする。

- 2 決議は、出席総数の過半数を必要とする。

#### 第12条（役員会）

役員会は、会長が召集し、事業、会の予算、会則の変更、その他の会務を審議決定する。

- 2 会長は、原則として毎年1回、役員会の決議事項を会員に対し報告する。

### 第6章 会計

#### 第13条（会計年度）

本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

#### 第14条（経費）

本会の経費は、会費および寄付その他をもって、これにあてる。

#### 第15条（会費）

購読費は、年額3,000円とする。学生会員の購読費は、年額1,000円とする。

賛助会員の会費は、1口以上とし、1口の年額は10,000円とする。

- 2 学術集会の参加費は、主催者が決定することとする。

#### 付則

- 1. 本規約は、1998年11月1日に施行する。
- 2. 2000年9月25日に一部改正、同日より施行する。
- 3. 2002年11月16日に一部改正、同日より施行する。

研究開発分野のトータルサプライヤー  
株式会社 町田医理科商会

ごあいさつ

当社は、創業以来、研究、開発、生産、検査、教育、医療に携わる皆様が、必要とされる商品を必要とされる時にお届けできるよう、社員一同努力して参りました。

近年、私たちの置かれている環境は急速な変化を遂げております。技術革新の進行は新しい可能性の世界を広げ、これまで以上に多岐にわたる機能が求められています。私たちは多様化するニーズにリアルタイムにお応えすべく決意を新たにしております。

今後、一層の精進をいたす所存でございますので、ご愛顧を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役 新井久得

株式会社 町田医理科商会  
東京都町田市玉川学園 1－17－15  
Tel: 042-725-9103, Fax: 042-725-9094

---

協賛会社

- ・ 株式会社 成茂科学器械研究所  
東京都世田谷区南烏山 4－27－9  
Tel: 03-3308-8233, Fax: 03-3308-2005

- ・ ホワイト食品工業株式会社  
東京都新宿区西新宿 4－32－11－701  
Tel: 03-3299-4433, Fax: 03-3299-4010